

# GAP Japan 2019

## —日本のGAPの今が分かる—

今やGAPの普及は日本農業の喫緊の課題となっています。

日本GAP協会は、GAP普及のための非営利団体として、各方面のGAP普及の進捗について関係者の情報を共有することを目的とし、シンポジウム「GAP Japan」を開催します。

今回は「ASIAGAP、JGAPの最前線」をテーマに、主催者である日本GAP協会から始まり、行政、生産者、指導者、流通・消費関係者などの各段階の取組を広く俯瞰します。

日時

**2019.10.9** 水 **13:00~17:30**

(懇親会18:00~ アブルボア)

**会場：東京大学 弥生講堂** 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内

### 開催概要

**主催：一般財団法人日本GAP協会**

協賛：(株)アグリコミュニケーションズ、アリスライフサイエンス(株)、(株)つくば分析センター、(特非)農業支援センター、(株)フリーデン、(株)ローソン

後援：農林水産省、日本政策金融公庫、日本農業普及学会、日本フードシステム学会、世界緑茶協会、全国茶生産団体連合会、全国農業会議所、全国農業改良普及支援協会、全国肥料商連合会、日本食農連携機構、日本茶業中央会、日本適合性認定協会、日本農業法人協会、日本プロ農業総合支援機構



### 申込受付方法：日本GAP協会ウェブサイトからの申込

※参加登録サイト：<https://2019.jgap.asia/>

参加費：一般 7,000円、会員・認証農場・指導員等 6,000円  
(懇親会 5,000円)

※詳細は参加登録サイトからご確認ください



# GAP Japan 2019

## テーマ「ASIAGAP、JGAPの最前線」

ASIAGAPは、昨年秋にGFSIの承認をアジアのGAP認証プログラムとして、初めて取得しました。また、12年の運用の歴史を持つJGAPは、日本の標準GAPとして引き続き多くの支持を受けており、両者をあわせた認証農場数は着実な増加を続けています。このように多くの関係者のGAPへの認知度と取組への意欲が高まっている中で、更なる取組の広がりに向けた課題も出てきています。

そのようなGAPをめぐる最前線の現状と課題を明らかにし、一層のGAPの拡大と定着に向けて本シンポジウムを開催します。

### ■ プログラム ■

#### 1 主催者挨拶

- ・ 針原 寿朗 一般財団法人日本GAP協会 評議員

#### 2 ASIAGAPおよびJGAPの到達点と今後

- ・ 松井 俊一 一般財団法人日本GAP協会 代表理事専務

#### 3 農林水産省のGAP普及推進施策の概要

- ・ 鈴木 良典 農林水産省大臣官房兼生産局 生産振興審議官

#### 4 2020年以降の農と食に関するレガシー

- ① 2020年を契機としたケータリング事業者への役割期待
  - ・ 紅林 利弥 エムサービス株式会社 執行役員 グローバルイベント推進部担当
- ② 2020年に向けた取組
  - ・ 勝野 美江 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局 企画・推進統括官
- ③ ミニトーク：東京2020大会のレガシーと給食事業者としてのGAP活用の可能性
  - ・ 紅林 利弥、勝野 美江、荻野 宏(日本GAP協会事務局長)

#### 5 JGAP 家畜・畜産物の認証を取得した農業高校の取組

- ・ 三輪 進 三重県立相可高等学校生産経済科 教諭

#### 6 GAP指導の最前線

- ① JAグループGAP支援チームの取組
  - ・ 城向 孝洋 全国農業協同組合中央会営農・くらし支援部営農担い手支援課 アドバイザー
- ② パネルディスカッション：GAP指導のノウハウと課題 ～良いGAP指導とは～
  - パネラー
    - ・ 城向 孝洋
    - ・ 小池 甲 新潟県農林水産部農産園芸課生産環境係 主査
    - ・ 中川 宏昭 株式会社アルトスケープ
  - モデレーター
    - ・ 武田 泰明 認定NPO法人GAP総合研究所 専務理事

#### 7 GAP普及大賞

- ・ 表彰式、受賞者による記念講演

<グランイート銀座> 全国の認証農場の食材を集めたレストランによるGAP認知度向上への取組

<北海道中標津農業高等学校> GAPを学ぶ中で、地域農業の課題解決につながる手法を考案したチャレンジ